

NO2

学校通信 弥四郎の里

令和2年5月
筑前町立中牟田小学校
校長 荒木 賢治

新たな計画で取り組んでいきます…引き続きご協力をお願いします。

6月の学校再開に向けてようやくある程度の計画を立てられる目途がみえてきました。これまでの臨時休校期間中における保護者の皆様のご協力に感謝いたします。

学校再開といっても自粛しなければならない状況の中、やはりいろいろな点で守っていくことがたくさんあります。マスクをつけること、換気をよくすること、密集をつくらないこと…学校生活でも今までとは違った“新たな生活様式”が必要となっています。臨時休業中、子どもたちは「何かできること」「しなければならないこと」を意識したのではないかと思います。5月後半（分散登校など）では体を慣らし、6月からのスタートに備える準備期間でもあります。身に付けた“新たな生活様式”を活かし安心して学校生活を送れるように努力していきたいと考えています。

★家庭学習からどんなことができるようになった？

教科書は子どもたちの考える道筋を大切にして構成されています。例えば算数の教科書を開いてみましょう。問題を解いていくための考え方やヒントが上手にちりばめられています（漫画や吹き出しなど）どちらかと言えば見落としがちなものですが、学習を進める上では重要なポイントになります。日頃教科書を見る機会はありませんが（子どもたち以外です）教科書の流れ通りに進めていけばある程度授業らしく学習できることもあります。もちろん教科書を見ただけで全ての教科を簡単に進めることはできません。

（多くの先生がその点で時間をかけて練っていくものです）

しかし、興味をもって教科書を開けば意外と“勉強できる”ものも多いと考えます。

このような状況ですのでちょっとでも教科書を開いて自分で勉強する時間と場を今後も大切にしたいと思います。



多くのキャラクターがヒントを出してくれる

勉強は大丈夫？

昨年度の3学期と4～5月の学習内容はどうなるか気になるころだと思います。当然例年通りに進めていけば到底終わることができません。そこで以下のように工夫をしながら時間や学習内容を工夫し、円滑に進めていけるように計画しています。

- ①1学期の運動会（練習時間を含む）を中止した時間や例年実施していた学校行事をなくした分の授業時間を他の教科に充てることができます。
- ②夏季休業の期間も変更（後日連絡）していく予定ですのでその期間授業を進めることができます。
- ③通常の学習内容に軽重をつけながら学習の遅れや偏りがないようにして重要な内容を落とさないようにしていきます。

ただし、学習の苦手な子どもたちが取り残されていかないようにしていかなければなりません。苦手な子どもたちの補充学習のも工夫をしていく計画です。

